

<仮訳>

ジョイント・フォーラムが「特別目的事業体に関する報告書」を公表

2009年9月29日

ジョイント・フォーラムは、本日、「特別目的事業体に関する報告書」（原題：Report on Special Purpose Entities）と題するペーパーの最終版を公表した。この報告書は二つの目的のために作成された。一つ目は、金融セクターで用いられている特別目的事業体（SPEs）の様々な構造、市場参加者がこうした構造を利用する動機、及び、こうした構造を利用することから生じるリスク管理上の問題について、背景情報を提供することである。二つ目は、市場参加者及び監督当局が考慮すべき点等を示唆することである。

ジョイント・フォーラムの議長及び米国通貨監督庁長官であるジョン・C・デューガン（John C. Dugan）氏は、本日、以下のように発言した。「本ペーパーは、これらのビークルがどのように組成・運用されているか、また、どのようにリスクが移転されているか、というビークルの利用に関する両面について理解を深める上で、大いに役立つ。この取組みは、SPEsの利用に伴う便益とリスクについて、監督当局及びその他の市場参加者が知識を得る一助となるだろう。」また、同氏は、「政策立案者は、ストラクチャード・ファイナンス取引及び証券化市場の規制・監督の改善に関する現在の議論を進展させる上で、本ペーパーにおける分析を重要な背景情報として用いることができる。」と付言した。